

# 令和6年度災害支援コーディネーター養成研修プログラム（初級編）

## 【初級の対象者・目的】

対象者	社協職員、行政職員、JC 会員、NPO 職員等で、災害時において災害ボランティア、災害 VC 及び避難所等と連携し、被災者支援活動を行う可能性がある方。また、災害 VC の運営又は運営支援を行う可能性がある方。
目指すところ	被災地の現場において自分の立ち位置および活動を理解したうえで、災害ボランティアセンターのスタッフとして様々な支援や役割を理解する。 <人材像> ◆災害 VC の意義と役割を理解し、各セクションリーダーの指示のもと、確実に業務を遂行できる。 ◆派遣先において自分の役割を理解し、行動できる。 ◆それぞれの立ち位置において、災害 VC や災害支援団体との連携を視野に入れ、被災者支援活動やコーディネートを行うことができる。

## ★★★ 日 程 ★★★

### ▼ 1日目 12/3 (火) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ・担当講師等
10:00~10:05	開会・オリエンテーション
10:05~11:35 (90分)	「災害支援とは」 【座学】 災害 VC や避難所といった様々な場所での支援のあり方について考えます。 ▶講師：野村 卓也（中越防災安全推進機構 コーディネーター）
11:35~11:50 (15分)	「初級研修のねらい」 【座学】 災害 VC のスタッフとして目指す人材像を理解し、運営支援者の役割を果たすためにこの研修でどんなことを学ぶのかを共有します。 ▶講師：井上 卓（日本赤十字社新潟県支部 救護・講習係長）
11:50~12:50	昼食休憩（60分）
12:50~13:50 (60分)	「災害ボランティアセンターの基礎」 【座学】 被災者とボランティアを結びつける災害ボランティアセンターの役割と機能について考えます。 ▶講師：風間 俊哉（新潟市社会福祉協議会 こども家庭支援係主査） 平田 達哉（関川村社会福祉協議会 地域福祉係長）
13:50~14:00	休憩（10分）
14:00~15:30 (90分)	「災害時のボランティアコーディネート」 【座学】 平時のボランティアコーディネートと比較しながら、災害時のボランティアコーディネートの特長と留意点や支援活動時の危機管理などについて考えます。 ▶講師：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長）
15:30~15:40	休憩（10分）
15:40~16:50 (70分)	「被災者と向き合った支援」 【座学】 被災者が抱える困りごとを引き出すため、相手の気持ちを理解したコミュニケーションの大切さと相手とより良いコミュニケーションの取り方について考えます。 ▶講師：浜田 広美（福島県桑折町社会福祉協議会 事務局主任主査）
16:50~17:00	質疑応答・事務局連絡

▼ 2日目 12/4 (水) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ・担当講師等
10:00～10:20 (20分)	<p><b>「1日目の振り返り」</b> 1日目の内容を振り返り、共有します。 ▶講師：新保 絵梨 (くびき野 NPO サポートセンター 主任)</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
10:20～12:00 (100分)	<p><b>「被災者のニーズをキャッチする」</b> 被災者へのアプローチの方法やその人が抱える困りごとを引き出す方法について考えます。 ▶講師：井上 卓 (日本赤十字社新潟県支部 救護・講習係長) 大井 麻未 (新潟青陵大学 ボランティアコーディネーター) 風間 俊哉 (新潟市社会福祉協議会 こども家庭支援係主査) 新保 絵梨 (くびき野 NPO サポートセンター 主任) 平田 達哉 (関川村社会福祉協議会 地域福祉係長) 野澤 圭 (新潟県 総務部県民生活課主事) 野村 卓也 (中越防災安全推進機構 コーディネーター)</p> <p style="text-align: right;">【ワーク】</p>
12:00～13:00	昼食休憩 (60分)
13:00～15:40 (160分)	<p><b>「被災者のニーズをキャッチする」</b>(午前のプログラムの続き)</p> <p style="text-align: right;">【ワーク】</p>
15:40～16:00 (20分)	<p><b>「初級2日間の振り返り」</b> 初級研修全体の振り返り、そのほか質疑応答を行います。 ▶講師：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>

※プログラムは一部変更になる場合がございます。